

普及情報

分類名〔果樹〕

情 7	有望な生食用イチジク品種の栽培特性
-----	-------------------

宮城県農業・園芸総合研究所

要約

宮城県における生食用イチジクの有望品種は、「バナーネ」、「ブルンスウィック」、「セレスト」、「早生日本種（蓬萊柿）」、「ビオレ・ソリエス」である。

1 取り上げた理由

県内の農産物直売所で販売されているイチジクは従来加工用が主であったが、ここ数年では生食用品種も見受けられるようになってきている。イチジクには数多くの品種があるが、県内での栽培特性はほとんど明らかにされていない。そこで、県内での栽培特性を検討したところ、5品種について果実品質が良好で安定生産できると考えられたので、これを普及情報とする。

2 普及情報

- (1) 「バナーネ」は、一果重が55g前後で糖度が17°，エテホン液剤を処理することで10a当たり780kg程度の収量が9月中旬から11月上旬までに得られる（表1）。
- (2) 「ブルンスウィック」は、一果重が50g前後で糖度が18.9°，摘心により10a当たり750kg程度の収量が9月中旬から11月上旬までに得られる（表1）。
- (3) 「セレスト」は、一果重が45g前後で糖度が24.2°，エテホン液剤を処理することで10a当たり1,090kg程度の収量が9月下旬から11月上旬までに得られる（表1）。
- (4) 「早生日本種（蓬萊柿）」は、一果重が70g前後で糖度が18.4°，摘心とエテホン液剤の併用で10a当たり1,060kg程度の収量が10月上旬から11月上旬までに得られる（表1）。
- (5) 「ビオレ・ソリエス」は、一果重が60g前後で糖度が20.3°，摘心とエテホン液剤の併用で10a当たり1,570kg程度の収量が10月中旬から11月上旬までに得られる（表1）。

3 利活用の留意点

- (1) 宮城県内で栽培されている在来種は、「ブルンスウィック」であると考えられる（第92号参考資料）。
- (2) 「セレスト」は、収穫適期を過ぎると果実が縦に裂果するので、適期収穫を心がける（表1）。
- (3) 「ビオレ・ソリエス」は、裂果が多いので、適期収穫を心がける（表1）。
- (4) 供試樹の樹形は開心自然形で、主枝数は3～4本、4×4mで定植したものである。
- (5) 結果枝は、7月下旬に20節を残して摘心し、摘心後に伸長した副梢等の摘心は行わない。
- (6) 基肥として4月中旬にエコロングトータル（391-140）をN5kg/10a施用している。
- (7) エテホン液剤は、「エスレル10」を用い、収穫予定15日前の果実に1,000倍液をハンドスプレーで果面が濡れる程度に散布する。成熟予定15日前の処理時期の目安は果実の目の部分が赤くなり、果皮の緑色が薄く変化する時期を目安にするが、品種により変化の特徴が異なるため、最寄の農業改良普及センターに相談すること。
- (8) 摘心とエテホン液剤を併用することにより、11月上旬までに20節まで着果した果実が収穫できる。

（問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所花き・果樹部 電話 022-383-8111）

4 背景となった主要な試験研究の概要

(1) 試験研究課題名及び研究期間

宮城から提案する新規園芸品目の生産技術の開発 (平成 26～平成 30 年度)

(2) 参考データ

表1 イチジクの栽培特性(平成29～30年)

品種名	摘心	エスレル10	一果重 (g)	糖度 (° Brix)	収量 (kg/10a)	収穫開始日	収穫前進 日数(日)	収穫期間 (日)	食味等
パナーネ	有	有	57.7	17.0	575	9月19日	7	35	果皮色は灰紫, 果肉は鮮紅色。果軸と果頂部近くに緑が残る。甘みはやや少なく, 果汁やや少。適期収穫を過ぎると果皮が薄くひび割れる。
		無	56.5		513			35	
	無	有	58.8		787	9月26日	-		
	無	55.0	532	-					
ブルンスウィック	有	有	49.1	18.9	754	9月20日	16	40	果皮色は灰紫, 果肉は桃色。やや多汁で甘みは強い。食味は良。
		無	50.9		757			-	
	無	有	54.2		630	10月6日	-		
	無	48.7	340	-					
セレスト	有	有	34.6	24.2	791	9月27日	3	34	果皮色は暗赤紫で, 果肉は鮮紅色。甘み強く, 果汁多く, 食味は濃厚。果皮はやや厚いが, 収穫適期を過ぎると果実が縦に裂果する。
		無	46.1		617			-	
	無	有	46.7		1,094	9月30日	-		
	無	49.1	631	-					
早生日本種 (蓬萊柿)	有	有	72.3	18.4	1,063	10月7日	2	26	果皮色は灰紫, 果肉は鮮紅色。果頂部から裂果する。果汁やや多く, 甘みはやや少なく, 味は薄い。
		無	72.9		690			-	
	無	有	66.8		741	10月9日	-		
	無	68.7	591	-					
ピオレ・ソリエス	有	有	60.3	20.3	1,579	10月11日	7	25	果皮色は暗赤紫, 果肉は鮮紅色。甘みは強く, 酸味もあり, やや多汁で味は濃厚。果皮は厚く, やや食べにくさあり。裂果が多い。
		無	71.0		1,162			-	
	無	有	44.7		732	10月18日	-		
	無	66.7	507	-					

※糖度(° Brix)及び果実特性は, 平成29年調査。それ以外は平成30年調査で, 樹齢は平成30年4月で5年生。

※収穫前進日数は, 摘心処理により収穫が早まった日数を表す。

※収穫期間は, 結果枝の最上位節に着果した果実を収穫するまでの日数で, 「-」は最終収穫日の11月7日以降に未収穫果実があったことを表す。

(3) 発表論文等

イ 関連する普及に移す技術

イチジクの品種識別技術の開発と宮城県在来種の品種同定 (第 92 号参考資料)

ロ その他

なし

(4) 共同研究機関

なし